

中村英雄 （おむら） ドイツ文學者。大正五年五月一日廣島市東白鳥町生れ。昭和六十二年十月二十一日歿（一九六一八八）。舊姓廣崎。筆名不破白人、中村英夫、H・N。昭和十六年早稻田大學文學部獨文科卒。翌年シナリオ「われ征かん」を書き上げ、廣島の「西部第一部隊」に入營。二十年南鳥島の守備に屬し、十月復員。二十一年早大文學部教授。四十二年ドイツ民主共和國（東ドイツ）のワイマルに留學。翌年歸國後大山聰と主導してワイマル友の会を設立。五十年恩師舟木重信死去の際に葬儀本貫長を務め、のちその書翰集「直江津への手紙―戦時下疎開した家族のあこがれ」（昭和六十年十一月十六日舟木初子刊）、ヨ人聞この愛しきもの―舟木重信書翰集」（榎本重男共編、昭和六十二年七月七日東洋出版）を編纂刊行。詩人中村漁波林は従兄。綴譯、テキスト、文法書の他、遺文集「池上草堂襍記」（平成元年十月二十八日角川書店）がある。



池上草堂襍記

中村英雄